

インタビュー interview

はっぴいサポート代表の梅木強さん (写真左) と
外出支援を利用した稲田和子さん (写真右)



梅木さん
小回りのきく、お年寄りの気持ちによりそう活動がしたいと会を立ち上げました。つないだ手の温もりを感じながら長生きしてほしいと思います。自分の親だと思って接しています。

稲田さん
子どもたちはみんな遠いところにいるので、みなさんから助けられています。本当にありがたいです。

便利屋わごう

- 対象** 65歳以上の高齢者のみの世帯
- 対象地区** 余目第4学区
- 活動日時** 月～金：9:00～16:00 土日祝・12/29～1/4：休み
- 依頼可能内容** 外出支援（通院や買い物時の付き添い）、買い物代行、片付け（屋内・屋外）、電球替えなどちょっとしたお手伝い※他の支援は要相談
- 利用料金** 年会費：1,000円
利用料：30分250円（チケット制）※30分を超えてからは、30分ごとに250円が追加になります。※チケット8枚つづり2,000円
- スタッフ会員** 19人（令和5年4月1日現在）
- 申込み** 和合の里を創る会事務局（余目第四まちづくりセンター内）☎0234-44-2162



▲便利屋わごうスタッフ打合せの様子



あいことば
合言葉は「お互いさま」

手を貸してほしい
手伝ってあげたい
地域での支え合い活動が
広がっています

いくつになっても住み慣れた場所で安心して暮らしたい

「人生100年時代」と希望にあふれたフレーズがしきりに聞かれるようになった今日。それは各々が健康で、生活環境も整っていることが前提です。現実には、やはり不便な諸問題に直面することが多いのではないのでしょうか。
「いくつになっても住み慣れた場所で安心して暮らしたい」
今回は、そんな高齢者の想いを叶えるべく、65歳以上のみの世帯などを対象に、家事支援や通院、買い物時の外出支援など、日常のちょっとしたお手伝いをする有償ボランティアとして活動している、「はっぴいサポート」と「便利屋わごう」をご紹介します。

インタビュー interview

便利屋わごうの菅原恭子さん (写真左) と
外出支援を利用した森居啓子さん (写真右)

菅原さん
私もいつか身の回りのことが自分でできなくなる日があると思って、お互いさまの気持ちで接しています。サポートした方が喜んでくれることが本当にうれしいです。

森居さん
月2回くらい医者に行くときに利用していて大変助かっています。その間、世間話をするのもとても楽しみです。



はっぴいサポート

- 対象** 65歳以上の高齢者のみの世帯 ※外出支援は、1人で外出するのが困難で、付添いが必要な方
- 対象地区** 余目第1～第3学区
- 活動日時** 月～金：9:00～16:00 土日祝・12/29～1/4：休み
- 依頼可能内容** 外出支援（通院や買い物時の付き添い）、食事の支度、話し相手、掃除（屋内・屋外）、買い物代行、片付け（屋内・屋外）、洗濯※他の支援は要相談
- 利用料金** 年会費：1,000円
（初年度のみ初回登録料としてプラス1,000円）
利用料：1時間700円
（1時間を超えてからは、30分単位で計算）
- スタッフ会員** 12人（令和5年4月1日現在）
- 申込み** コーディネーター横山☎090-4317-9288



▲はっぴいサポートスタッフのみなさん

担い手養成講座をきっかけに支え合いの輪が広がっています

庄内町地域包括支援センター
生活支援コーディネーター 志田恵梨子さん



生活支援コーディネーターは高齢者のみなさんが地域で自分らしく暮らしていけるよう、住民組織や関係機関と連携し、地域住民の支え合い活動の推進や生活支援の充実を図るよう活動しています。活動の1つとして、地域の集まりや通いの場などに参加させていただき、地域資源や生活上の困りごとについて聞き取りを行っています。

その中でどの地域からも聞かれたのが「移動手段」への不安の声でした。地域でどんなことができるか地域のみなさんと一緒に勉強したいと思い、令和元年度「移動支援」をテーマに「担い手養成講座」を7回実施しました。今回の2つの団体のスタッフとなった方々も参加していただいています。受講者から新たな活動が生まれ、現在は立ち上げ支援だけでなく、活動継続の支援も行っています。

一緒に活動してみませんか？

2つの団体ともに一緒に活動するスタッフを募集中です。

外に出て人と関わる活動は、自分自身の活力にもなるようです。少しでも興味を持たれた方は、2つの団体の申込先へ問合せください。

はっぴいサポート

☎090-4317-9288
(コーディネーター横山)

便利屋わごう

☎0234-44-2162
(余目第四まちづくりセンター内)

高齢化が全国的に進むなか、本町の高齢化率も38.48%（65歳以上（令和5年4月1日現在））となっています。いくつになっても住み慣れた場所で暮らせるように、町内で「お互いさま」の活動が広がってきています。

今回紹介した2つの団体は、担い手養成講座を受講し、先進地の取組を勉強しながら組織を立ち上げ、自分たちに何ができるのかを日々研さんを積みながら活動しています。誰もが口をそろえて「利用された方の笑顔とありがとうの言葉がうれしい」と生き生きと話す表情がとても印象的でした。

町の魅力を聞かれたとき、四季折々の鮮やかな景色や美味しい食べ物が浮かびますが、困っている人がいれば助けてあげたいという思いを持っている人がたくさんいることや、豊かなネットワークも魅力の1つなのかもしれません。



今後のよりよい支援のために 2団体による情報交換会レポート



3月3日、2つの団体による情報交換会が行われました。はっぴいサポートの活動紹介動画を視聴した後、情報交換が行われ、支援中の悩みごとやこれからの活動の方向性について、真剣に話し合われました。

実際に活動 している みなさんの声

利用者は自分たちの将来の姿だと思ってお手伝いしています。

利用者から元気をもらえます。

自分より年配の方のお話がとても楽しい。

自分が外に出る目的ができました。

喜んでもらえることが嬉しい。



支援者の方々の声をもとに、今後も活動していきます

今後の目標

- スタッフを増やしたい。 ○活動をPRして、利用者を増やしたい。
- 利用者が利用して良かったと思えるような活動をしていきたい。
- 無理のない、できる範囲のお手伝いを継続していきたい。